



読字 原田 親

No. 584

2009/9/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東1号ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8236
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8011
倉敷市連島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日中友好協会岡山支部

理事会だより

9月17日第3回理事会は7人の参加でした。

この間、総選挙で自公政権が終わりをつけ、太極拳合宿で汗を流し、岡山市長選もありました。

情勢は、核密約、沖縄密約が明らかになるなか、CO₂25%マインナスなるかが注目。

組織、として来年の大会(6月)までに会員1000人を増やそうとの本部エース。

財政、は未収金が約15万円あります。

秋の活動いろいろ

- 一、カレンダーが月末に到着します。
- 二、60周年記念のTシャツ(8色)を申し込んでください。
- 三、9・18 チラシ裏の年表で学習しよう。
- 四、9月26日、帰国者と楽しい文化交流会14時〜福祉交流プラザさいでん。
- 五、岡山市と共催で10月3日、日中文化講座・講演会にお出かけください。
- 六、10月15日 青空口のちの

- 山河「岡山市民会館19時、チケットあります。
- 七、10月18日、兵庫から岡山(バスツアー)。
- 八、10月31日、日中9条の会学習会、岡西公民館14時、

老後の社会保障について

- 講師：米田信敏さん(協立病院医療ソーシャルワーカー)
 - 九、11月3日、憲法のつどい、(三木記念ホール)小川洋子講演1時30分、チケットあります。
 - 十、11月21日、10時〜、日本語教室5周年のつどい(高島公民館)
- ※お時間がありましたら、新聞発送作業をお手伝いください。原則1の日、土日祭日の場合は順延です。 竹内和夫

馬小菲さん 南蓮さんに代わって「中国残留邦人の支援・相談員」に



大森さん 伊藤さん 馬さん

南蓮さんの東京転勤にともない、岡山市の中国残留邦人の支援・相談員に馬小菲さんが、8月1日付で採用されました。

私も馬さんを岡山市に紹介した理事として同席しました。中国残留邦人に対する新支援法が施行されてから、1年余りが経過しました。この法が、真に生かされるためには、支援・相談員「のみなさんの中国残留邦人の歩んできた人生、抱いている心情」への理解にもとづく対応が不可欠です。そのためには、当初から強調されている家庭訪問などにより、彼ら

の現状を正しく把握し、要望や意見を市町村の職員に伝えることが、重要な役割とされています。

日中友好協会岡山支部で、中国帰国者問題を担当している小生の役割も大切であると改めて自覚しています。

小林軍治

布下 しおり



朗読劇「流れる星は生きている」

「一九四五の夏を語りつくす会」主催の

公演が、開催されました

八月二九日、岡山県天神山文化プラザホールで「一九四五の夏を語りつくす会」主催の朗読劇「流れる星は生きている」の公演が、開催されました。

この会は、これまで「ゆるりえんれん物語」(中国人強制連行問題) あの日 私(東安) 駅事件の生存者で中国残留日本人孤児の大谷さんがモデル)などを題材に一九四五の夏に何があったのかを二〇年間語りついでいます。

今年、藤原ていさんが昭和24年に発表してベストセラーとなった「流れる星は生きている」が朗読劇になり、2009年・夏の終わりの岡山によりみがえつた。

この作品は、終戦目前の満州から、夫と離ればなれになった作者が、乳幼児を含む三人の子を連れ、およそ一年をかけて日本へとたどりつく道のりを描いている。眠ることの許されない深夜の山越え、子の伝染病感染、そして飢え。数限りない生死の分かれ目に直面しながらも、子を死なせない、その一点でふんばり抜く姿を中心に、極限下の人の心の混乱が巧みに描き出された。

私の知らない1945年はまだまだたくさんある。知ることを原点にして、自身の立ち位置への思考を深めていきたいと改めて実感した。

小林軍治

第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ③

第80回文化講座(09・5・16)での石子順さんのお話を掲載しています。

『白毛女』は日中友好協会

に寄贈されました。しかし字幕を入れるお金がなかったもので、映画の音量を抑えて同時通訳を入れたんです。白毛女というのは女性が主人公ですから、それを男の人が日本語で通訳する、何ともいえない変な感じの映画だった。今、有名になりましたが、京都大学の竹内実さんとかが同時通訳をやられたんです。

新しい中国の映画だという

事で、一杯の入場者だった。

この映画は税関をなかなか通らなかつた。日本政府が中国を敵視してましたから、中国から入ってきた映画だから税関を通らない。

皆が陳情したりして、集団の力で税関に差し押さえられたのを取り返して、日中友好協会を中心にして上映運動をやったら、これが本場に一杯人が来てね。戦争が終つてから、ずっと国

内戦争をやつていてやっと中華人民共和国ができて、そんな国がどうして新しい映画を撮る事ができたのか。

秘密は技術者に日本人が参加していたことです。その技術者の前身は何かというのと、満州映画協会です。

満州国が出来てしばらくすると満鉄と関東軍と満州国がお金を出しあって作ったのが、満州映画協会という国策映画会社です。

もちろん満州人に見せる映画ですから、全部中国語の映画ですね。ところがなかなか俳優がいなくて、2、3年たつてそこからデビューしたのが、李香蘭です。李香蘭というのは当時は中国人だと思つていましたから、日本語のうまい中

国人の女性だと皆思つていました。演技力もあって歌も上手くて、彼女が出る映画を作つていたのが満州映画協会です。

でも技術者も監督も皆日本人なんです。映画現場はすごかったみたいです。通訳がついて、監督もスタッフも日本人ですから、俳優だけが中国人で、大変な撮影現場だったようです。

内田吐夢とか木村莊十二という有名な映画監督も、そのころ満映にいましたが、彼らはどうとう満州映画がつかれるまで、満州映画協会では一本も撮らなかつたけれど、技術指導とか監督指導などやっていたんです。

小林軍治の

フランス滞在記 ①

はじめに

七月三〇日に出発し、約一ヶ月間リヨンを中心にフランスに滞在し、八月二八日に岡山に帰ってきました。

今回のフランス行きは、地中海で孫の『心』(coccolò)と泳ぐこと」が第一の目的で、大よそ次のような日程と地域で一カ月間過しました。

八月一日(土)〜八日(土)までは、南フランスの地中海沿岸のコゴランを拠点にして、五日間泳ぎ、プロヴァンス(アヴィニオン、サン・トロペなど)とカンヌを見学。

八月一五日(土)〜二〇日(木)までは、フランスの最西端(北西)に位置するブルターニュ地方のプロムールに家を

借りて、大西洋で泳ぎ、田舎の道をサイクリングし、キプロン、ヴァンヌ、ラニオンなどを見学。八月二一日(金)と二二日(土)は、世界遺産のモン・サン・ミッシェルで一泊し、大修道院教会の見学。

これら以外の日は、リヨン6区に住む娘達のマンションで「心」と公園で遊んだり、一人で散歩、リヨンの町での買い物などをして過しました。

前回(七年前)は、娘の結婚相手の両親へのあいさつを兼ねて行き、パリを中心にヴェルサイユ宮殿、セーヌ河岸の見学と観光が中心でした。今回は、フランスのバカンス時期と重なり、フランス人のバカンスの過し方の一端を体験することができました。次号から何回かに分けて報告します。

障害者の自立支援法の

違憲訴訟を支援

久米郡美咲町にお住いの清水博さんが応益負担一割の撤廃を求めて国や町を相手に8月25日に岡山地裁に提訴しました。9月6日には、原告の清水さんを支援して、憲法で保障されている生きる権利(25条)、個人の尊厳(13条)、法の下の平等(14条)を守らせよう、と 障害者自立支援法訴訟の勝利をめざす岡山の会」が発足しました。

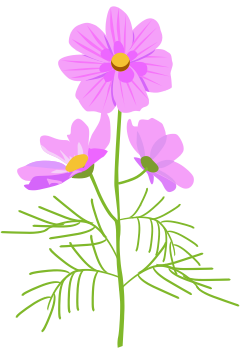
清水さんは脳性マヒのために、下半身が不自由で車イスの生活をおくっています。

収入は障害基礎年金の月額8万2508円のみ、清水さんにとっては「足」である車イスの補修、修理、購入に以前は無料であったものに、一割の負担がかかるようになったのです。

生きていくために必要なヘルパーの報酬も無料から月額3000円の負担、医療費についても負担がかかります。清水さんは生きることの最低のサービスにも重い負担がかかる、支援法は「自殺支援法」だと訴えています。

国連では、障害のある人もない人も平等に暮らしていく権利があるというノーモライゼイションの社会をと 障害者の権利条約」が採択されています。人権侵害の 障害者の自立支援法違憲裁判」の勝利に向けて足を踏み出しました。11月24日午後2時より第一回の公判があります。是非、傍聴を!

稲葉泰子



北京へ(5)

坪井あき子

肉なし中華料理の日々の最後に「空聚徳」での北京ダック食べ放題があつたのはせめてもの救いだらう。

ガイドの他に、高級カメラを持った娘さんがついていた。ガイドはアルバイトに少し私の手伝いをしてもらいます」と紹介したがこの娘さんは全く別の会社の人だと思える。

集合写真をとってハガキ大のを一枚800円で売る。カメラの北京の風景写真がちりばめられた、ずっしりしたアルバム様のものに、家族だけ

の写真を貼っていく。最後にバスの中で各家族(ほとんど二人)に冊子を渡す。裏に小さく、5千いくら、6千いくらと書かれた紙片が貼つてある。この冊子をぞくぞくと買うのだ。たくさん写された人は1万円を超えるなあ」と後ろで声がする。

一枚800円!このツアーで何万円も手に入れるだろう娘さんと、胡同で輪タクをこいで数百円を稼いでいる男の人たちと一格差が生まれるはずだわーとつぶやく私と。 つづく



フランスで移動したところ

次回の新聞発送作業は10月1日(木)午後1時半〜民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

吹林 和 内井 和 竹内 三 坪井 三